



# BOB会関東支部だより

No. 53  
95. 3. 10

## 日本交通公社OB会関東支部

〒109 東京都中央区日本橋本町1-8-16和孝第15ビル内4階 電話03-3270-2226・6095

### 武蔵野倶楽部

の発足に当たって

稲田 栄太郎さん  
(東京都 府中市)

山の手、武蔵野の両倶楽部が去る10月28日に発足いたしました。武蔵野と武蔵国とは同一の意義ではありませんが、府中市の歴史に出てくる武蔵国とは、大化の改新(645年)以降で、延喜式によると武蔵国の郡の数は21郡で、陸奥国の35郡について全国では第2位の郡の数であり、その範囲はほぼ現在の東京都、埼玉県の全域と神奈川県の一部を含む広大なものでありました。また、その政治の中心地である国府は、現在の府中市に設置されました。

その後、天平13年(741年)3月、聖武天皇は国分寺建立の詔を発しました。その要旨は、国ごとに僧寺と尼寺を置き、仏教の力によって災厄を防ぎ、国家の繁栄を祈願するためのものであります。この国分寺の造営は国司の監督のもとに完成されました。

武蔵国国分寺は、国府の北方約2.5キロの地点に造営され、諸国の国分寺中最大のものであったが、元弘3年(1333年)新田義貞の鎌倉攻めの際焼失し、今日に至っていません。また、国府に関連した神社として、総社と言う名称で武蔵国の大国魂神社が全国的に有名です。室町時代に六所宮と称され、鎌倉時代の「吾妻鏡」にも初めて見えています。大国魂神社の社伝によれば、前九年の役の頼義、義家父子は大国魂神社に戦勝を祈願し、乱の鎮定後に擲の苗木千本を寄進し、これが現在の馬場大門擲並木の起源だと言われ、天然記念物に指定されています。また、頼朝が石橋山の合戦に敗走し、安房に逃れ、ここで態勢を立てなおして武蔵国に入り、六所大明神(大国魂神社)に参詣し、神馬や矢を奉納したことが伝えられています。

以上、武蔵国の概略を書きました。一般に「武蔵野」と言われる処は「国語総合辞典」によれば、東京都西部から埼玉県川越市付近に及ぶ平野を指すものとなっています。

(11月22日記)